

みんなで
取り組もう!

あまがさきし

尼崎市

みどりのまちづくり計画

がいようばん
概要版

2024—2033



みんなで識り、創り、守り、つなごう
あまがさきのみどり



みどりのまちづくり

この計画は、みんなでみどりのまちづくりを進めるための計画です。市内のいろいろな場所でみどりを広げ、尼崎市が住みやすく働きやすいまちになるように、みんなで取り組みましょう！

健康



福祉



これも『みどり』

緑や水辺の空間を使った
人々の活動

にぎわい



コミュニティ形成



子育て支援



教育・学習



桜の名所で
交通広場がある
西武庫公園

桜並木で
ウォーキングができる
武庫川河川敷緑地

バラが楽しめる
古墳がある
大井戸公園

北雁替公園

地域住民と一緒に
使い方を考える
南の口公園

駅前を彩るケヤキ並木の
武庫之荘南駅前線

高田公園

橘公園

芦原公園

水明公園

蓬川緑地など

日本の道 100 選に
選ばれた橘通り

様々なイベントが
開催される
中央公園

元浜緑地

魚つり公園

地域の種から
森づくりを行う
尼崎の森中央緑地

歴史の拠点となる
尼崎城址公園



これも『みどり』

自然環境を構成する

水辺の空間

尼崎のびのび公園

本計画の
みどり
とは

尼崎市内の
緑や水辺
の空間

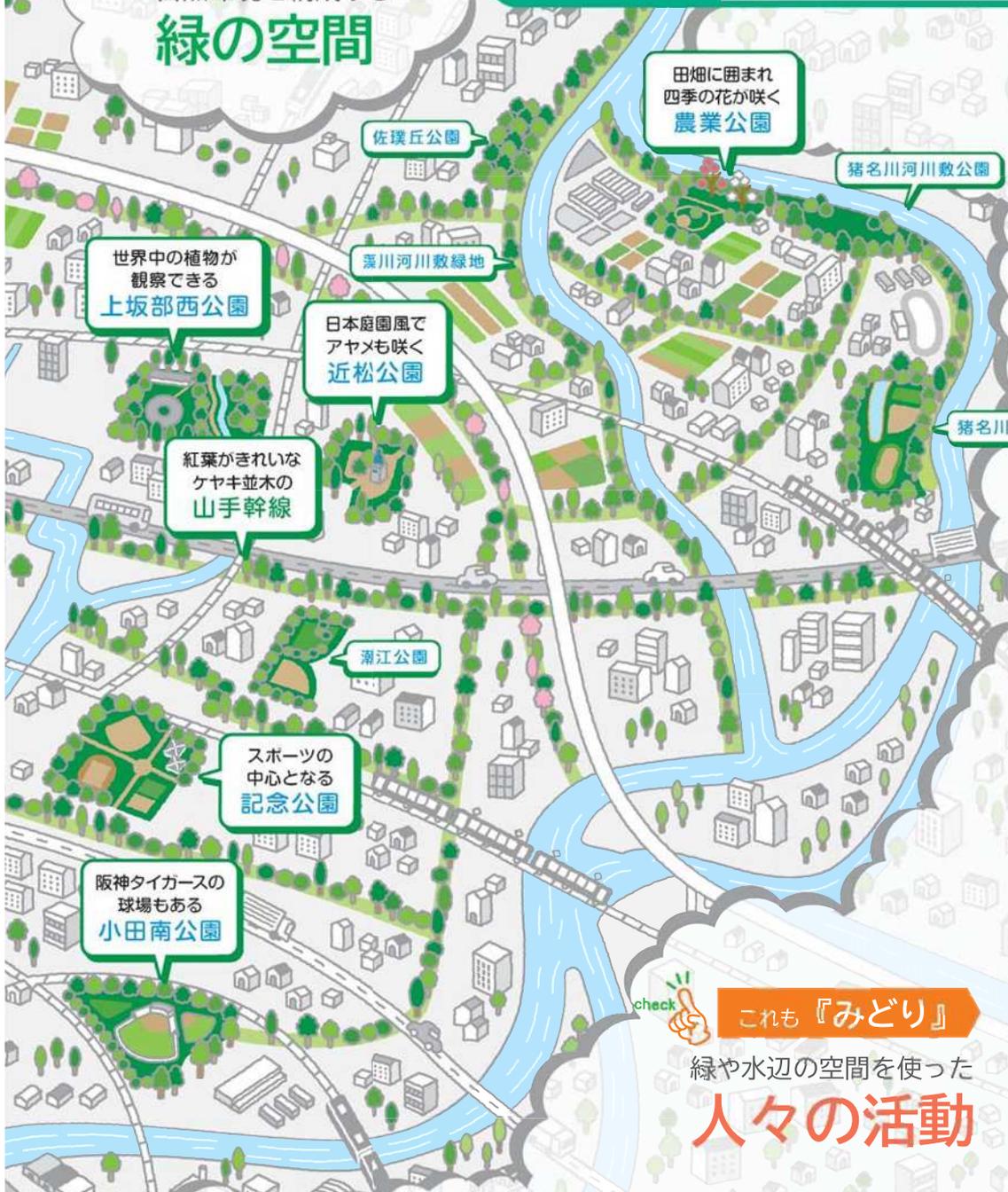
緑や水辺の
空間を使った
人々の活動



これも『みどり』

自然環境を構成する

緑の空間



憩い・ゆとり



遊び



農業・生産



都市環境の保全



生物多様性の保全



防災・減災



景観形成



これも『みどり』

緑や水辺の空間を使った

人々の活動

基本理念 と 将来像

基本理念

みんなで ^し 識り、^{つく} 創り、^{まも} 守り、つなごう あまがさきのみどり

未来像

みんなで、みどりを身近に感じ、利用することで、まちの価値を高め、より良いまちを目指す。
みんなで、みどりについて考え、行動し、これまで培ってきたみどりを未来へ継承する。

計画の目標

本計画の全体目標として、みどりによるまちの暮らしやすさについて、「満足」もしくは「やや満足」と感じる市民の割合を10ポイント引き上げることが本計画の目標とします。

項目	本計画 当初値 (2024)	目標値 (中間) (2028)	目標値 (期末) (2033)
みどりによる まちの暮らしやすさに 満足している市民の割合	39%	44%	49%

全体目標

「みどりによるまちの暮らしやすさ」を引き上げ

※全体目標のほか、施策ごとに「施策目標」も設定しています。

基本方針と施策体系

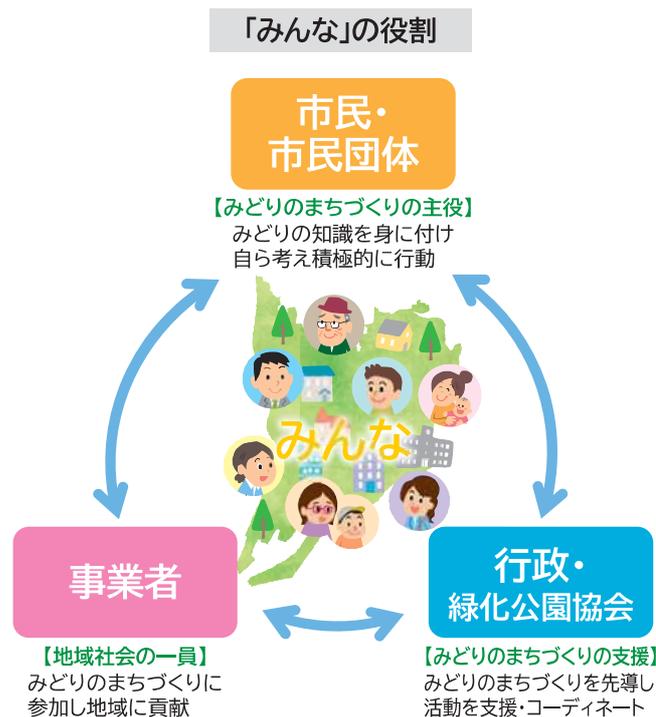
基本方針	施策	取組テーマ
基本方針1 みどりで まち つなぎ みんなでみどりを使いこなし まちがみどりにあふれまちの 魅力が高まる	施策1-1 魅力的な公園づくり ～公園からまちづくり～ 	①公園利活用の促進 ②適切な公園マネジメント
	施策1-2 快適な街路樹づくり 	③今後を見据えた街路樹のあり方
	施策1-3 まち並みの緑化推進	④民有地・公共施設の緑化推進
基本方針2 みどりで 人 つなぎ みどりで人と人がつながり みどりのために活動する 人が増える	施策2-1 みどりを守り育てる活動支援	⑤みどりを守り育てる活動支援 ⑥多様な活動への支援と連携
	施策2-2 みどりの魅力を感じる情報発信	⑦みどりの情報発信
基本方針3 みどりで 未来 つなぎ みどりが市民や生き物、 環境を守り、安全で快適な まちを持続的に支える	施策3 市民の安全や生物多様性を守る グリーンインフラの推進	⑧防災・減災に役立つみどりの保全と創出
		⑨尼崎の多様で貴重なみどりの保全
		⑩生物多様性や生態系の保全
		⑪みどりを生かした都市環境の保全

本計画におけるみんなとは

本計画における「みんな」とは、子どもから大人まで、世代・性別等を問わず、市民・市民団体・事業者・行政等、本計画に関連するあらゆる人々のことを指しています。

山や森などのまとまったみどりがない本市では、これまで「みんな」で協働して、みどりのまちづくりに取り組んできました。

本計画でも、「みんな」で目的を共有し、連携して取り組むことで、「あまがさきのみどり」を次の時代を担う世代へつないでいくことが大切です。



取組内容

1 身近な公園の機能分担 / 2 様々な特色を生かした公園のリノベーション
3 公園をもっと使いこなすための仕組みづくり

1 まちの魅力を高める公園マネジメント / 2 安全安心で快適な公園づくり(インクルーシブ施設の設置)
3 利便性を高めるための公園のDX化

1 街路樹の適正化に向けた方向性の整理 / 2 今後を見据えた街路樹の適正化
3 持続可能な街路樹管理のDX化 / 4 老朽化した危険木の計画的な撤去

1 民間事業者等との連携体制の構築 / 2 民有地又は公共施設における質の高い緑化の推進
3 まちの魅力や安全性の向上につながる緑化基準の見直し / 4 緑化の推進につながる優良事例の表彰や紹介

1 みどりのさらなる普及啓発に向けた新たな担い手の確保

1 みどりが広がる多様な活動への支援と連携 / 2 農地の活用及び保全につながる活動支援

1 みどりに関する情報発信の充実 / 2 公園専用アプリによる公園情報の発信
3 みどりの魅力や体験を自ら発信する人づくり / 4 みどりを広げるための情報交換の場づくり

1 安全安心なまちづくりに役立つみどりの整備 / 2 防災協力農地の増加
3 気候変動を踏まえた水害対策(総合治水の取組)

1 未来へ引き継ぐべき保護樹木、自然林の保全 / 2 水辺、運河、臨海部の多様なみどりの保全
3 都市における貴重な農地等の保全 / 4 緑化重点地区、保全配慮地区の指定

1 生物の生息・生育環境への配慮 / 2 外来種への対応 / 3 希少種や重要種を保全する取組

1 ヒートアイランド現象の緩和 / 2 資源循環につながるせん定枝等の活用
3 環境意識の向上につながる環境学習

施策 1-1 魅力的な公園づくり

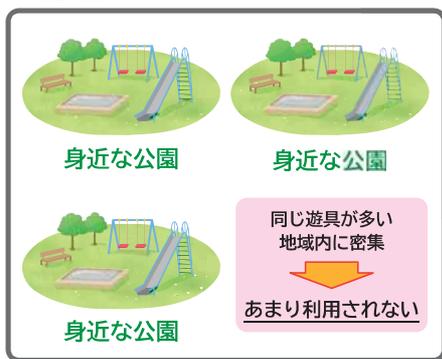
主要

公園の機能分担

あまり利用されていない身近な公園(街区公園等)が密集している地域を対象に、周辺の複数の公園を一体的に考え、利用実態や施設状況、地域ニーズに合わせて、それぞれの公園で機能を分担する「公園の機能分担」に取り組みます。

機能分担のイメージ

■現状



機能分担



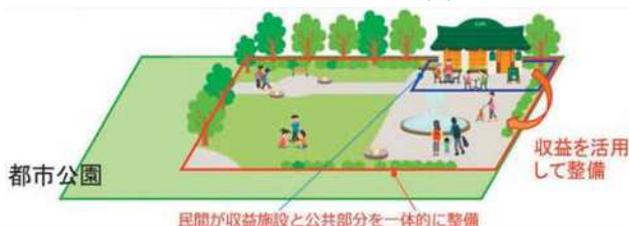
■機能分担後



まちの魅力を高める特色を持たせた公園づくり

公募型設置管理制度(Park-PFI)の活用を検討し、まちの魅力向上につながるような特色を持った公園をつくっていきます。

Park-PFIのイメージ図



公園をもっと使いこなすための仕組みづくり

地域ニーズに応じた柔軟な公園利用ルール(公園ローカルルール)づくりについて、地域住民と一緒に検討し、みんなで地域の公園をもっと使いこなすための仕組みづくりに取り組みます。

公園ローカルルールの例



施策 1-2 快適な街路樹づくり

主要

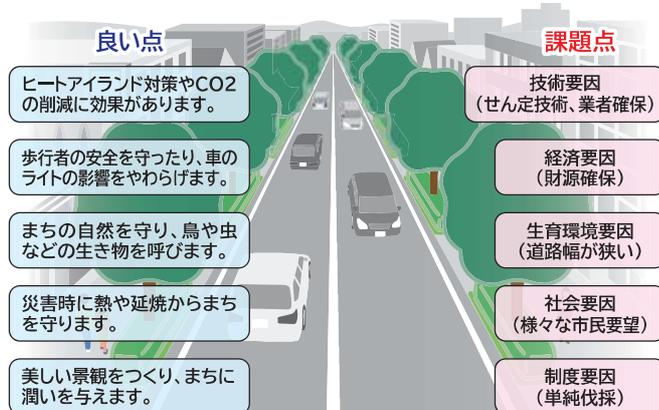
今後を見据えた街路樹の適正化

地域や路線の特性、樹種や植栽間隔について検討したうえで、街路樹の試行的な適正化を実施します。また、その効果を調査、検証し、適正化計画を策定し、計画的な適正化を図ります。

街路樹の適正化に関する本市の基本的な考え方

街路樹は本市の貴重なみどりの一つであることから、単純に街路樹を伐採するのではなく、様々な観点で検証を行い、市民や樹木に関する専門家等からの意見を聴きながら検討を進めていきます。

街路樹のはたらきと課題要因



施策 1-3 まち並みの緑化推進

民間事業者等との連携体制の構築

民間事業者等との意見交換やアンケート調査等を実施し、緑化協定に基づきこれまで整備されたみどりを良好な状態で持続できるように取り組みます。

施策2-1 みどりを守り育てる活動支援

新たな担い手の確保

若い世代やファミリー世帯にも気軽に参加していただけるよう緑化公園協会と連携して講習会等の取組を実施します。

多様な活動への支援と連携

ボランティア団体によって進められているみどりの活動がさらに拡大継続するように、情報共有やイベントの共催等の支援・連携策に取り組みます。



フラワーガーデニングコンテスト
最優秀賞作品(R4年度)



尼崎キャナルガイドによる
運河周辺のガイド

施策2-2 みどりの魅力を感じる情報発信

みどりの情報発信

各講習会やイベントにおけるターゲット層に効果的な情報が届くように、情報発信の充実に取り組みます。

公園専用アプリを活用して本市の公園情報を積極的に発信し、新たな公園利用者の確保につなげます。



公園専用アプリの概要

施策3 市民の安全や生物多様性を守るグリーンインフラの推進

防災減災に役立つみどりの保全・創出

新しい公園整備の際に防災設備や延焼防止効果のある樹木、公園・緑地への雨水貯留・浸透施設等の整備を進め、みどりを生かした安全安心なまちづくりに取り組みます。



貴重なみどりの保全

市内の貴重な古木を「保護樹木等」として指定し、効果的に保全できるよう取り組みます。

水辺、運河空間の多様なみどりを保全していきます。

都市に残された農地の保全を図ります。



田能春日神社の
保護樹木と周辺農地

生物多様性や生態系の保全

生物多様性を育む取組を推進し、生物多様性に配慮した都市のエコロジカルネットワークの保全と創出に努めます。

尼崎21世紀の森構想の森づくりなど、地域性に配慮した緑化や希少種を保全する取組を関係機関と連携して進めます。



デンジソウ
上坂部西公園で受入保全

みどりの生かした都市環境の保全

みどりはヒートアイランド現象の緩和に寄与するものであるため、環境保全の観点からもみどりの保全・創出に取り組みます。

みどりの役割や重要性を市民に啓発し、みどりを活用した環境教育・学習を引き続き行います。



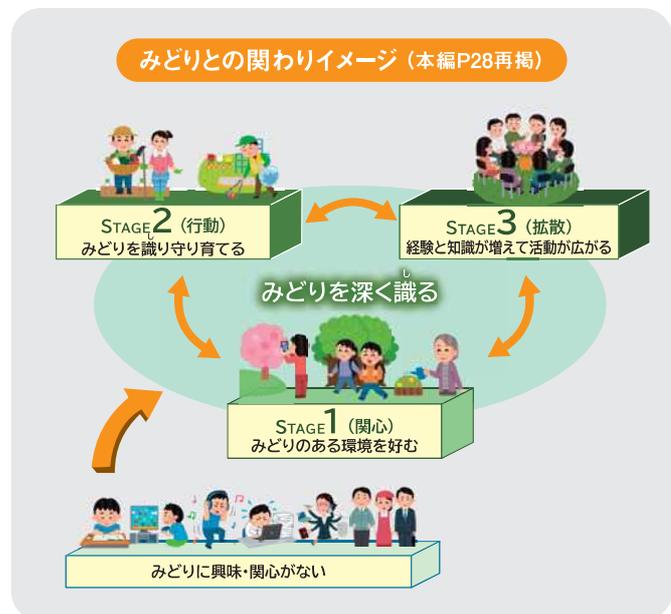
上坂部西公園での環境学習

計画の実現に向けて

本計画では、魅力的な公園づくり(施策1-1 P16)や快適な街路樹づくり(施策1-2 P22)等、様々な協働型事業に積極的に取り組み、「みどりのまちづくり」をさらに推進していきます。

そのためには、市民のみなさんをはじめとする「みんな」が、みどりに関心を持ってみどりのまちづくりのために行動するとともに、それらの活動が広がっていくことが大切です。

みどりのまちづくりを継続し、次の世代に引き継いでいくためにも、みんなで様々なアイデアを出し合いながら、みんなでみどりのまちづくりを推進していきましょう。



みんなで取り組む協働型事業の一例



尼崎市みどりのまちづくり計画(概要版)

発行／ 尼崎市 都市整備局土木部 公園計画・21世紀の森担当
〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号
TEL：06-6489-6530 FAX：06-6488-8883
<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp>

